

おはよう

愛宕山

☆ 発行所 ☆

『おはよう愛宕山新聞社』

〒741-0071 ☎&Fax 31-3383

岩国市牛野谷町3-75-19

郵便振替 01510-0-19089

おはよう愛宕山新聞社

浜田の空を縦横無尽に

低空飛行ルートに調査した

10月16日、田村市議は昨年に比べ2倍以上に増加した米軍機による低空飛行の爆音に悩む浜田市を訪問し

た。浜田市はエリア567と呼ぶ米軍の訓練空域の直下にあたり、昨年12回と記録された騒音が今年9月

までで既に270回を越えその爆音は凄まじい。田村市議は今年7月15日にこの旭地区で開催された学習会に招かれ、120人の参加者に低空飛行の講演をした。この



島根あさひ社会復帰促進センター(浜田市旭町)

午後から同じ旭地区内の認定こども園を訪問し、園長先生のお話を伺った。山の中に開けた静かな場所にある幼稚園と保育園を一元化した認定こども園は計画し頓挫した工業団地用地の跡地に立つ。

園長先生はなぜ、こんな静かな環境の場所に米軍機が飛んでくるのかと憤る。ここは愛宕山と全く同じで、頓挫した広大な工業団地跡地に浜田市が誘致した島根あさひ社会復帰促進センターと呼ぶ刑務所施設が

刑務所施設がターゲット？ 絶好の攻撃目標に

日は浜田市の行政関係者から8月に撮影したという生

ており今後多数設置の手定めという。



マンジュシャゲ(ヒガシバナ)

進出、08年10月に開所した32名の広大な敷地にある同センターには二千余人の受刑者が服役している。帰りに施設周辺を周遊してみても納得、エリア567という訓練空域の下には一面緑の山の中に突然現れる広大な施設は絶好の攻撃目標。10年前に四国の山間部のオレングループと呼ぶ低空飛行ルートを踏査し、溪谷にあ



ブラウン・ルートとエリア567

る水力発電所の導水管や変電所、くわくわく曲がった道路、学校などが攻撃目標にしている実態を見た。まさにここがそれと酷似した刑務所施設をターゲットにしていることは間違いない。施設は今はコンクリート壁ではなく、鋼製のフェンスと金網の二重柵が施設を囲む。その、内側の鋼製フェンスに米軍機の爆音が反応してセンサーが作動するという話も今ラホラ。職員も米軍機が来るとビリビリするとか。

これから、ホーネットだけでなく、オスプレイまで飛んでくるような爆音を垂れ流すなど、到底許されることではない。

たむら じゅんけん 又米兵の犯罪が 沖繩で又、米兵2人が女性を襲い性的暴行を加えたうえがをさせるという事件が起こった。しかも二人の米兵は米本国から厚木基地を経由した海軍兵士である。「海軍」「厚木」と結ばば2年後に配備予定の艦載機部隊も厚木から、今回の事件はたまたま用務が沖繩だったからかは岩国でも十分起こりうる事件である。▼事件を起こした米兵は朝から酒を飲み、その日帰国の予定だったと言う。未だ日本を占領し続けている気分、事件に及んだのだらう。オスプレイの配備を常識の「範囲」と言う森本防衛大臣は、今回の事件を「たまたま日本に来て起こってしまった」などと言いつつを装う。▼「厚木から来る艦載機部隊は海軍だから海兵隊とは質が違う、だから悪質な事件など起こさない」というのが受け入れ容認を主張する偉い方々の理解だが、所詮は軍隊、人を殺すのが職業の世界だ。空も地上も、全く危険極まりない基地の街の実態である。

インターネット <http://www.rimpeace.or.jp> Eメール tamura@rimpeace.or.jp